

KU 平成24事業年度のトピックス

山中伸弥教授がノーベル生理学・医学賞を受賞

平成24年10月8日(月)18時30分(日本時間)にノーベル生理学・医学賞の発表があり、iPS細胞研究所長の山中伸弥教授が受賞されました。授賞理由は「成熟した細胞を、多能性をもつ細胞へと初期化できることの発見」です。

山中教授は、僅か4つの遺伝子を皮膚細胞(線維芽細胞)に導入することにより、さまざまな体細胞に分化可能な多能性とほぼ無限の増殖性をもつ「人工多能性幹細胞(iPS細胞:induced pluripotent stem cell)」を作製することに成功しました。マウスiPS細胞作製の成功を平成18年に発表し、平成19年にはヒトiPS細胞作製を報告しています。

iPS細胞の作製は、一度分化した体の細胞を未分化の状態にもどすという「細胞核の初期化(リプログラミング)」に関する画期的な発見であり、今回の受賞は、治療法が未だ確立されていない難病の原因解明や薬の毒性検査、新しい治療法や薬剤の開発に新たな道を開いた功績が高く評価されたことによるものです。

iPS細胞に関する研究成果は、生物学や医学の基礎研究のみならず、再生医療分野においても今後大きな貢献が期待されており、さらに、生物学や医学の分野をこえて、広く科学技術一般や人文学、社会科学の分野にも多大なる影響を与えることになりました。

また、本学にとっても、若い世代の研究者の励みとなるだけでなく、研究者を志す学生が増えるなど、山中教授の活躍が良い効果をもたらしています。



本学での受賞報告記者会見にて松本総長と握手を交わす山中教授



ノーベル賞授賞式(平成24年12月11日)全景

Copyright ©: The Nobel Foundation 2012
Photo: Alexander Mahmoud



授賞式(平成24年12月11日)の様子

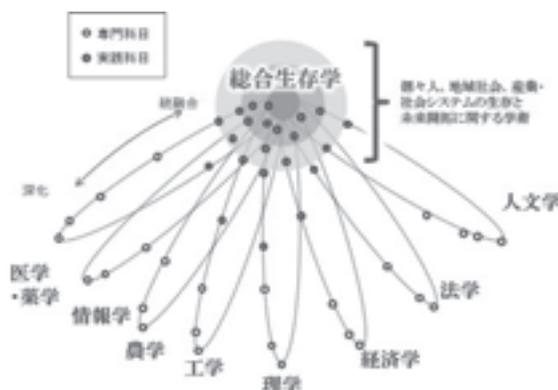
Copyright ©: The Nobel Foundation 2012
Photo: Alexander Mahmoud

大学院総合生存学館(思修館)の設置

本学では、地球社会の課題を総合的に分析し、解決に導くための方法論や思想、政策などを幅広く探究する学問である「総合生存学」の発展を通じて、次代を担うグローバルリーダー人材を育成することを目的としたリーディング大学院の設置に向けた準備をすすめてきました。その結果、平成24年11月に文部科学省より設置認可を受け、平成25年度から「大学院総合生存学館(思修館)」を設置することとなりました。

これにより、異分野を融合する知識とその実践を通じて、現代社会が抱える諸課題の解決を先導できる人材を輩出することに加え、課題解決の方法論およびその教育方法を確立し、分野横断的な新しい教育カリキュラムを実行することで、大学院教育の改革にも資することが期待されます。

(<http://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/>)



アウン・サン・スー・チー氏に名誉フェローの称号を授与、講演会を開催

平成25年4月15日にミャンマー連邦共和国の国民民主連盟(NLD)議長であるアウン・サン・スー・チー氏が本学を訪問されました。松本総長より、特に優れた業績により国内外で高い評価を受けていることを理由に、同氏に対し本学で第1号となる名誉フェローの称号を授与した後、百周年時計台記念ホールにて講演会を開催しました。同氏の来日は、昭和60年10月1日から61年6月30日までの9ヶ月間、東南アジア研究センター(現:東南アジア研究所)に在籍していた時以来27年ぶりのことです。

同氏は、「民主主義と人権回復のための非暴力闘争」によって平成3年にノーベル平和賞を受賞されたほか、アメリカ合衆国議会名誉黄金勲章(平成20年)なども授与されています。現在は平成23年に発足した現政権下で下院議員として、政権との和解と民主化に益々力を発揮されています。



アウン・サン・スー・チー氏に京都大学名誉フェローの称号を授与する松本総長

新たな施設の整備

○桂キャンパス総合研究棟Ⅲ(物理系)

大学院重点化に伴う少人数教育の実施、大学院レベルにおける生涯教育や国際教育の拡大、プロジェクト研究の増加等による既存施設の狭隘化への対応、複数の分野に共通の研究施設を共同利用することによる施設の集約化・効率化、並びに物理系における改組・統合によるフレキシブルな共同利用形態を可能とする施設の整備を目的として、PFI事業により整備されました。

本施設は、桂キャンパスの北西部のCクラスターに属し、テクノサイエンス・ヒルの顔として、住宅地と自然に囲まれた高低差25mの傾斜地に位置しています。Cクラスターのほかの総合研究棟とともに、「外部資金導入による大型プロジェクト研究の推進」「実験室ゾーンをオープンラボ形式とすることによる流動的な実験室の利用」「実験室の共同利用、有効利用を図ることによるコミュニティスペースやリフレッシュラウンジ等の空間の確保」「大学院教育充実のための空間創出」「レンタルラボ部分における民間事業者の経営能力および技術的能力の活用」など、従来の固定的な枠組みにとらわれない広い視野からの取り組みを行っています。

○メディカルイノベーションセンター棟

医学研究科の基礎および臨床医学現場で得られる情報やリソースと企業の最先端創薬技術を結集して、革新的医薬品の創出を行うことを目的として設立されたメディカルイノベーションセンターの拠点として、平成25年3月に竣工しました。本施設により産学連携による新規医薬品開発の加速化が期待されています。
(<http://www.med.kyoto-u.ac.jp/mic/index.php>)

○吉田国際交流会館

本学では、外国人研究者と留学生のための宿泊施設として、国際交流会館(修学院本館・宇治分館・おうばく分館・みささぎ分館)を設置していますが、新たに吉田国際交流会館が竣工しました。地下1階地上4階建てで、全部で69の宿泊室を備えています。本会館は宿泊施設としての機能だけでなく、講義室やセミナー室、居住者以外の人々とも交流することができるラウンジ、そして国際交流サービスオフィスを併設しており、本学在籍者を起点とした新たな国際的ネットワークの発展につながる施設となっています。

(<http://www.opir.kyoto-u.ac.jp/kuiso/kaikan/yoshida/>)



桂キャンパス総合研究棟Ⅲ(物理系)外観



桂キャンパス総合研究棟Ⅲ(物理系)全景



メディカルイノベーションセンター棟外観



吉田国際交流会館外観

KU 重点事業経費について

●各種戦略的経費

本学では、教育・研究・医療活動の個性化と活性化のために戦略的・重点的に配分する経費を充実させ、総長および役員会のイニシアティブと責任によって特定課題の活動並びにそれらを支える基盤体制に重点的に予算を配分しています。



新大学院「思修館」施設整備事業 ～博士課程教育リーディングプログラム～
(教育推進事業)による合宿型研修施設(学寮)外観
(<http://www.sals.kyoto-u.ac.jp/index.html>)

●京都大学第二期重点事業実施計画

第2期中期目標期間(平成22～27年度)において、中・長期のおよび全学的視点から大学を運営するため、「京都大学第二期重点事業実施計画」を策定しています。

本計画では、東日本大震災に伴う被災学生に対する授業料免除による経済的支援、次世代を担う若手研究者の育成支援、桂キャンパスの整備、国際化事業のさらなる推進、女性研究者の採用促進の支援、国際的な京都大学ブランドの構築に向けた新しい情報発信の展開など、さまざまな事業に取り組んでいます。

平成25年度 各種戦略的経費

各所建物修繕経費	教育・研究・医療活動の基盤である施設等を、長期にわたり良好な状態で維持管理するため、修繕等を計画的かつ効率的に実施するための経費	
総長裁量経費	総長のリーダーシップにより、教育研究の一層の充実発展を図るための経費	
第二期重点事業実施計画に必要な経費	重点戦略経費	教育・研究・医療の質の向上並びに組織運営の改善に充てる戦略的・重点的な事業を実施するための経費
	第一期からの繰越積立金、目的積立金	
全学経費	全学共通経費	本学の教育研究医療活動を一層発展させるため、大学として支援が必要な事業に措置するための経費
	特別協力経費	本学の国際力をより一層向上させるために各局部が取り組む事業や、各局部の個性・特色を活かした独自の取り組みに措置するための経費
	設備整備経費	各局部における教育研究医療活動全般に対する設備(概ね1億円以下)を整備するための経費
部局運営活性化経費(事業型)	多様化する社会に対応し、本学における教育研究の発展を支えるための組織見直しや改編などを促進する取り組みに対して措置するための経費	
基盤強化経費	全学機構運営基盤経費	全学機構等の業務を適正かつ機動的に実施するための経費
	全学施設運営支援経費	全学施設の運営を支援するための経費
	電子ジャーナル支援経費	学術情報の基盤となる電子ジャーナルのパッケージ購読費用に対して支援を行うための経費
産官学連携推進経費	産官学連携の推進に向けての取り組みを支援するための経費	
学内向け貸付金	部局において、資金調達が困難な施設・設備の整備等のために、一時的に多額の資金を必要とする事業計画を支援するための資金	

京都大学第二期重点事業実施計画 【平成22～24年度着手決定事業】

教育推進事業	オープンコースウェア(OCW)支援事業 教育環境改善事業 小中高大連携推進事業 ～サイエンス・コミュニケーター・プロジェクト～ キャリア支援充実化事業 経済的・学生支援強化事業 身体障害学生支援強化事業 吉田南構内再生整備事業 ～学生寄宿舎の整備～ 東日本大震災に伴う被災学生に対する経済的支援事業 新大学院「思修館」施設整備事業 ～博士課程教育リーディングプログラム～ 学生寄宿舎整備事業(熊野寮)	広報・社会連携事業	全学同窓会支援・卒業生連携事業 京都大学のプレゼンス向上のための戦略的情報発信の充実 戦略的広報事業(ホームページによる情報発信の拡充事業) 戦略的情報発信の拡大・展開事業 名勝清風荘庭園の保存・活用整備事業 京都大学基金の広報・活動支援事業
研究推進事業	研究推進戦略活性化事業 若手研究者支援事業 女性研究者養成事業 シニア・コア研究者フォローアップ事業 京都大学次世代研究者育成支援事業 ～白眉プロジェクト～ 世界トップレベル研究拠点融合研究加速支援事業 研究支援体制強化プロジェクト	基盤整備事業等	事務改革推進事業 男女共同参画推進事業 楽友会館等再生事業 職員宿舎整備事業(第2次) 環境マネジメントシステム構築事業 桂キャンパス整備事業 旧演習林事務室全学共用化整備事業 吉田南構内再生整備事業 ～国際交流拠点施設の整備～ 時計台周辺環境整備事業 危機管理体制の整備推進事業 農学研究科附属農場移転等整備事業 教育研究医療等施設・設備環境改善事業 全学共用施設整備事業 全学の計算機資源が集約可能な高性能・高信頼データセンター施設の実現 地震による生命の安全確保のための耐震事業 電話交換機設備整備事業 (宇治地区・熊取地区・犬山地区・病院地区)
国際化推進事業	教育国際化推進事業 国際化戦略推進事業 戦略的国際学術研究推進プログラム 学生の国際交流推進事業 国際交流環境整備推進事業		